

# 効果① 国際競争力と成長 ～民需の拡大～

- 環状道路の整備により、沿線に物流施設や工場が立地する等、民間の投資を喚起します。
- 運送時間の短縮や物流の効率化等により企業進出が加速し、雇用の促進など、地域の発展に寄与することが期待されます。

## 物流施設や工場の立地等、民間の投資を喚起

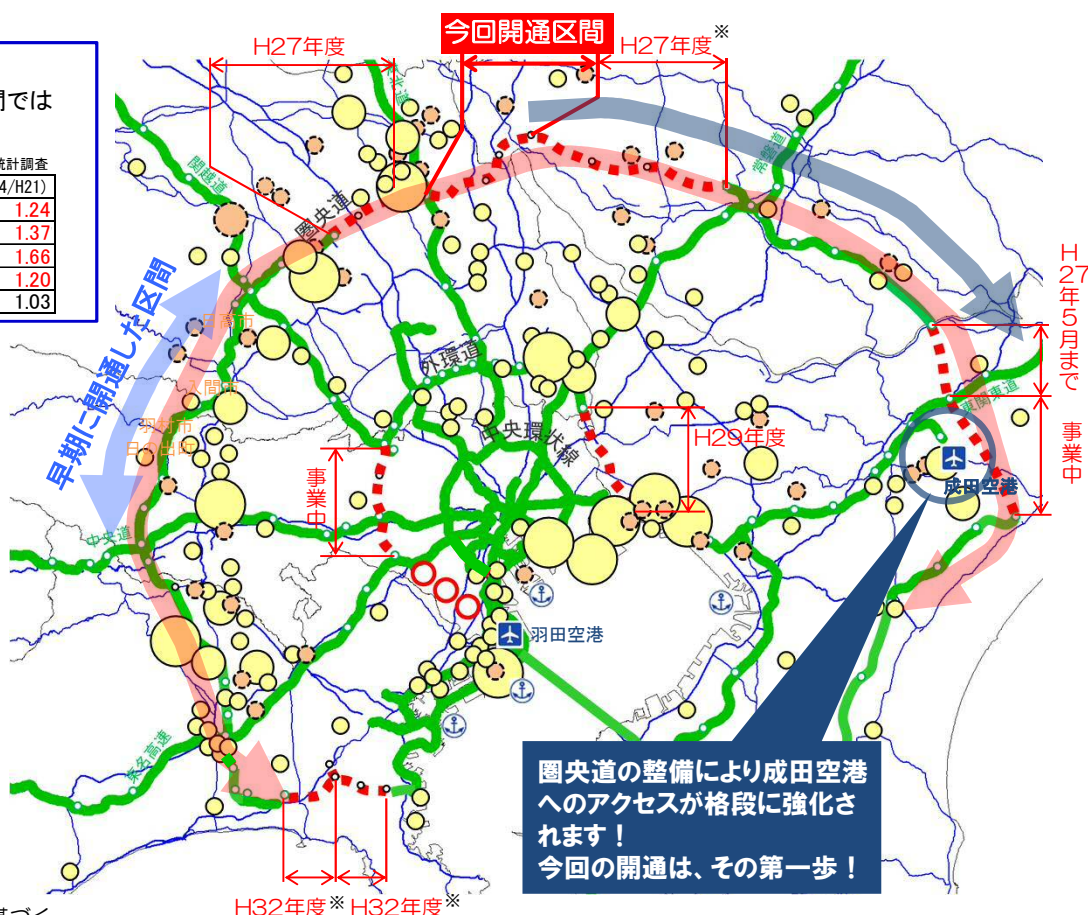
### 【圏央道の早期に開通した区間】

・平成19年に全通した関越道～中央道間では既にストック効果が発現

製造品出荷額（億円）		出典：工業統計調査	
市町村名	H21 → H24 (H24/H21)		
日高市	1,271 → 1,579		1.24
入間市	2,823 → 3,872		1.37
羽村市	3,823 → 6,350		1.66
日の出町	529 → 637		1.20
埼玉県+東京都	197,983 → 203,373		1.03

#### 凡 例

道路	
	高速道路
	高速道路事業中
	国道
企業立地件数	
	立地済み
	立地予定
	1～2件
	3～4件
	5件以上



圏央道の整備により成田空港へのアクセスが格段に強化されます！  
今回の開通は、その第一歩！

※区間の開通時期については、土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

出典)国土交通省調べ  
(平成7年以降の物流施設、工業団地、工場の立地を抽出)

### 【圏央道沿線企業の声】

#### 【茨城県五霞町内：食料品製造業】



食料品製造  
A社

- ・当社では、製品を静岡県裾野市にある物流センターへ久喜ICから東北道を使って出荷しています。
- ・圏央道がつながると、**運送時間の短縮により、商品の早期納入が可能になると期待しています。**

#### 【埼玉県幸手市内：印刷製造業】



印刷製造業  
B社

- ・原料（材料）、製品は、東京や神奈川以西への配送が多いため、大半が高速道路を利用しています。
- ・圏央道の開通により、首都圏の高速道路の渋滞を回避して、全国各地に配送できるため、物流の効率化が期待されます。

### 【五霞町商工会の声】



五霞町商工会

- ・圏央道の開通に伴い、周辺開発が進められていますが、**今後、企業進出が加速する**と思います。
- ・これら企業が**地域の発展に寄与することを期待**しています。

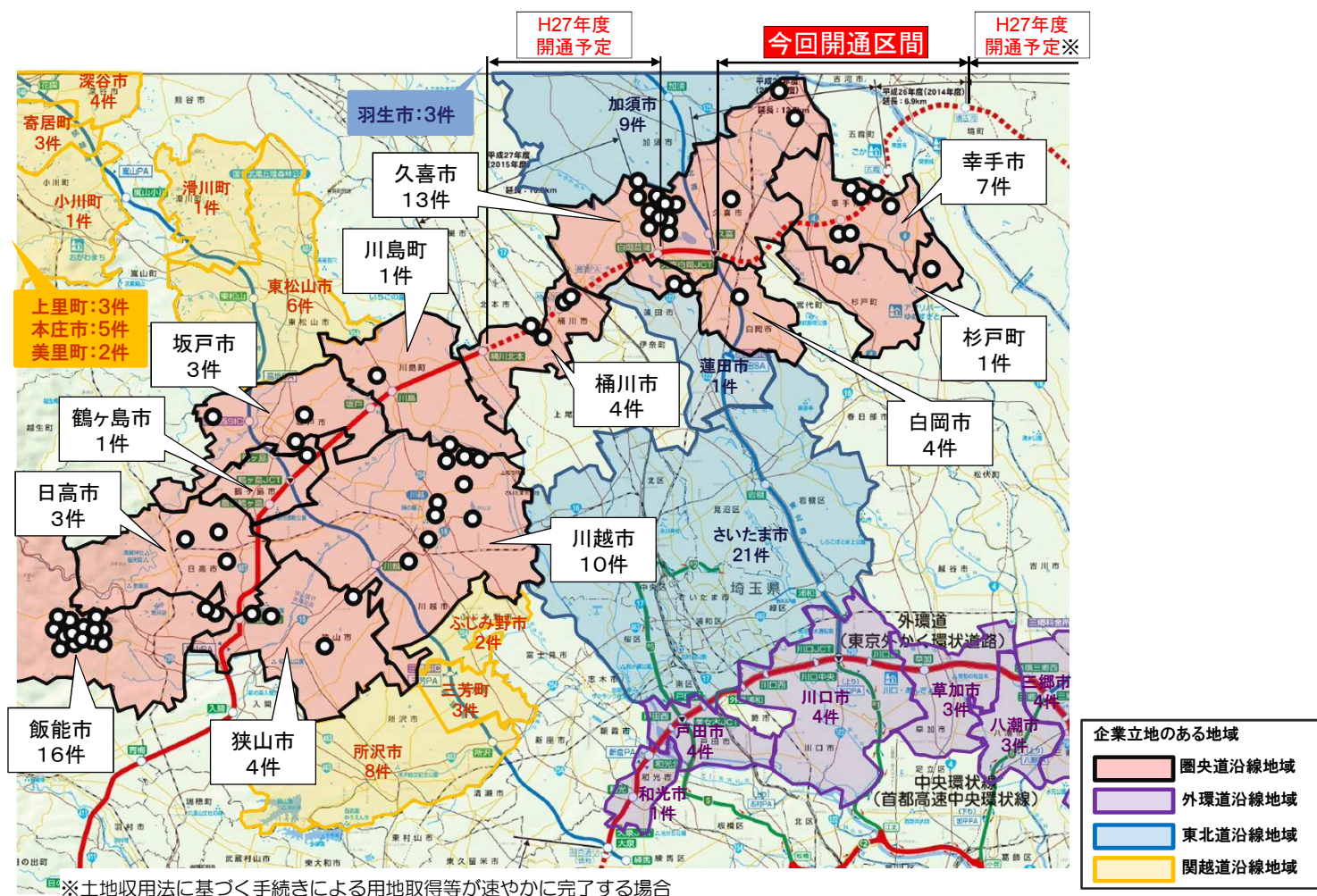
出典)平成27年1～3月 ヒアリング調査  
(北首都国道事務所調べ)

# 効果① 国際競争力と成長 ～民需の拡大～

- 圏央道沿線は、圏央道により都心を通らず広域移動ができ、都心部に比べ、まとまった事業用地が確保しやすいなど、物流施設立地の適地となっています。
- 埼玉県内において、開通済みの圏央道沿線に企業が立地し、開通予定区間沿線でも企業立地が進行しており、工業地の地価上昇率が高水準となっています。

## 企業の立地等、民間の投資を喚起

【圏央道(埼玉区間)沿線地域の企業立地状況(H22.4～H26.12)】



## 圏央道沿線地域での立地件数 67件(全201件の3割強)

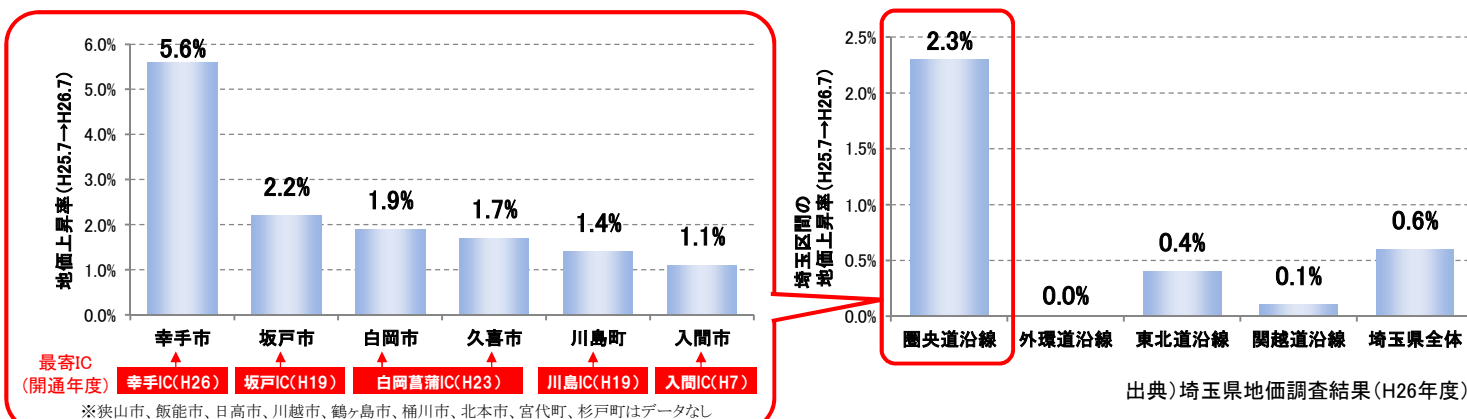
〈その他高速道路沿線地域での立地件数〉

- ・外環道沿線(川口、三郷等:19件) ・東北道沿線(さいたま、加須等:34件)
- ・関越道沿線(所沢、東松山等:38件)

出典) 埼玉県

「チャンスメーカー埼玉戦略Ⅱ立地企業一覧  
(公表分のみ) H22.4～25.3」  
「チャンスメーカー埼玉戦略Ⅲ立地企業一覧  
(公表分のみ) H25.4～26.12」

【圏央道(埼玉区間)沿線地域(工業地)のH26地価上昇率(前年変動率)】





## 効果① 国際競争力と成長 ～民需の拡大～

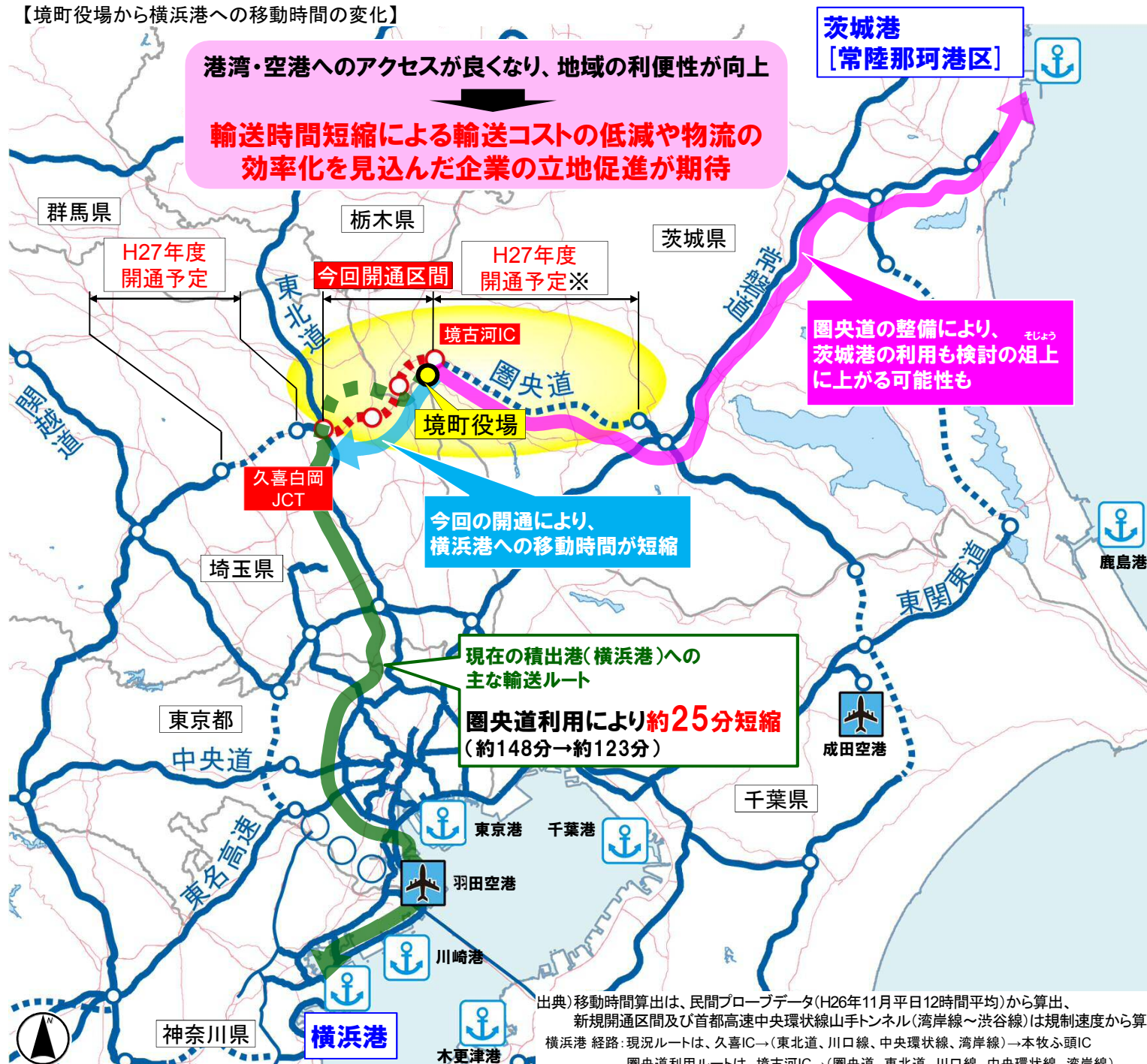
- 次々とつながる圏央道の整備により、港湾・空港へのアクセスが良くなり、地域の利便性が向上。輸送時間短縮による輸送コストの低減や物流の効率化を見込んだ企業の立地促進が期待されます。

圏央道の整備により、地域の利便性が向上。企業の立地促進が期待

【境町役場から横浜港への移動時間の変化】

港湾・空港へのアクセスが良くなり、地域の利便性が向上

輸送時間短縮による輸送コストの低減や物流の効率化を見込んだ企業の立地促進が期待



出典) 移動時間算出は、民間プローブデータ(H26年11月平日12時間平均)から算出、  
新規開通区間及び首都高速中央環状線山手トンネル(湾岸線～渋谷線)は規制速度から算出。  
横浜港 経路: 現況ルートは、久喜IC→(東北道、川口線、中央環状線、湾岸線)→本牧ふ頭IC  
圏央道利用ルートは、境古河IC→(圏央道、東北道、川口線、中央環状線、湾岸線)  
→本牧ふ頭IC

【圏央道沿線企業の声】

【茨城県古河市内: 自動車メーカー】



自動車メーカー  
C社

- ・ 既存拠点との連絡の利便性、商品輸送の利便性、また既存の仕入れ先との距離感などを踏まえて、企業立地を決定しました。
- ・ 埼玉・茨城間全線開通時には、既存拠点との連絡の利便性が期待できます。また、新たな積出港(茨城港[常陸那珂港区]など)の利用も検討の<sup>そじょう</sup>上<sup>じょう</sup>に上がる可能性が考えられます。